



事務局長あいさつ



事務局長
田中 稔

事務局長という仕事

事務局長の仕事とは？ 日経ヘルスケア（2022.4）ハイズ(株)代表・裴英洙氏の記事によると、求められるスキルは事務部門の統括責任者として医事、人事、経理、総務、資材、システムなど幅広い部門に目を配り、全体最適を目指す大所高所の視座を持ち、経営層としてミッション・ビジョン、経営戦略、財務などの経営中枢業務も担いつつ、対外的には

病院を代表して地域会合にも顔を出すゼネラリスト。向学心を持ち、国家資格を有する専門家集団の中で全方向のコミュニケーション能力を元にした調整力と、精神的なタフさも必要。病院経営のプロとしての誇りと医療への熱い思いを持って活躍する人。

私としては、少なくとも熱い思い（passion）だけはしっかりと持ち続けて、この6年半取り組んで来ました。着任時からの最大の課題は医師、看護師をはじめとする医療従事者の拡充。着任時、医師数は医療法に基づく配置標準を下回っており特に注力して来ました。その結果、紆余曲折を経て、現在は着任当時の2倍ほどになりました。

看護師、薬剤師他専門職につきましても当院規模にほぼ見合うまでには至りましたが定年退職などに伴う補充・拡充は継続課題です。解決には呉羽会全体の改善を継続的に進めることで、地域の方々はもちろん職員からも愛される組織、ひいては実習にいらっしやる各種専門学校の学生さんにも選んでいただけるような組織を目指し続けることが必要だとも考えています。

お陰様で当呉羽会は本年度に設立50周年の節目を迎えることが出来ました。そして来年度からはフレハグループの新中期経営計画もスタートします。新たな課題として「サステナビリティ経営」が求められています。医療と介護は何をおいても人に尽きます。新人を採用・育成し、中堅から、中核へと成長することで継続性が保たれます。この先も医師の働き方改革の推進など、様々な変化が到来する中、タスクシフト/シェア、デジタル化の推進など将来に備えた準備を着実に進めながら、働きがいを感じられる組織にすることで永続性を高めることができると思います。

呉羽会が今後とも組織としての一体感をもって行動出来る組織風土を持ち続けるためには、共通の価値観となる理念が大切な拠り所となります。コロナ禍が3年に及び色々なイベントも開催出来ず、職員の中には少し元気が感じられない方も見受けられますが「職員の皆様を、笑顔にする」ことこそが事務局長の使命として、これからも邁進します。

管理部長あいさつ



事務局 管理部長
鈴木 浩一

職員が笑顔で働き続けられる職場環境を目指して

管理部門は、総務課・経理課・施設管理課・医事課・情報システム管理課の5つの課から構成され、人事、資材、経営管理、施設管理、診療情報・報酬の管

理、情報・システム管理など業務は多岐にわたり、経営の基盤となる重要な役割を担っていると思っております。

基本理念「すべての人を、笑顔にするために」、私たちは安心・安全・そして良質な医療・介護サービスを、提供・維持し、いわき市南部の地域多機能型施設として貢献し続けなければなりません。そのためには、働く職員がまずは笑顔であることが重要だと考えております。日々の充実こそが、より良いパフォーマンスにも繋がる、そう信じて、環境・時代の変化に合わせた処遇改善、福利厚生の実、柔軟性とスピードを兼ね備えた対応を心掛け、職員が呉羽会で働いてよかった、働き続けたい、働き続けられる職場環境の構築に努めております。

また、設備の適時更新・充実・維持は職場環境だけでなく、働く職員にとって安心・安全、心身の負担の軽減にも繋がります。新型コロナウイルス感染症の影響により、多忙さが増している今、ICT

を活用し更に職員の負担軽減と業務の効率化を図り、医療・介護の質の向上、そして患者・利用者様のサービス向上に繋げていきたいと考えております。

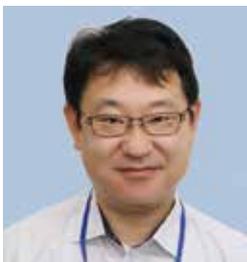
新型コロナウイルスのワクチン接種も進み、新規感染者数も減少傾向にはあるものの、未だ予断を許さない状況、どの医療機関・介護施設においても心配は尽きないことと存じます。当呉羽会でも日々の体調管理、感染対策は徹底しているものの、コロナ関連による職員の就業制限により、一部の診療を制限・縮小せざるを得ない状況にもなりました。今後同様の心配は尽きませんが、今こそ結束力を高めるチャンスと捉え、私たち管理部門は、他部署・職員の抱える悩み・問題解決に向け、職員の笑顔とその先にある患者・利用者様の笑顔のために、これからも縁の下の力持ちとして支えていけるよう尽力してまいります。

皆さま、今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

事務局 管理部紹介①



事務局管理部
総務課
経理課
医局秘書グループ
集合写真



事務局 管理部 総務課長
西田 康夫

働きやすい職場環境作りを目指して

事務局管理部総務課では人事、総務、資材、労働衛生、医局秘書、図書管理、リネンなどを担当し、医師・看護師・コメディカル・事務職などの呉羽会の全ての部署とかかわりを持ち、その業務は多岐にわたります。

また普段は患者さんと直接かかわることが少ないですが、呉羽会の理念『すべてのひとを、笑顔にするために』の『すべてのひと』に込められている『患者・利用者様』『呉羽会スタッフ』『地域住民の皆様』の笑顔の実現のため、安心安全な治療及び療養生活が送れるよう院内の

環境整備やスタッフが患者様・利用者様に満足していただける医療・介護を提供できるよう、働きやすい職場環境作り日々努めています。

近年は、医療・介護業界から社会情勢まで変化の幅・スピードが目まぐるしく、自身の対応もフットワーク軽く行いたい気持ちがありますが…。身についたモノ（お腹あたり）が重く、昔ほど軽やかにには行かない現状の中、スタッフが自身を上回るパフォーマンスをみせ、助けられています。



事務局 管理部
総務課 医局秘書グループ 主任
須田 美紀

先生方の健全な心身を守ること

現在、当院の医局員は18名、出身大学も出身地も様々、呉羽会の理念や経営方針に共感いただき、歴代院長や各部長のお人柄に惹かれてご入職いただいた先生ばかりです。

先生方には出来るだけ働きやすい環境を提供し、末永く呉羽会の一員として働いていただきたいと願っております。24時間365日、患者の命と向き合い、地域の皆さんの健康を預かる重責と使命

感で心から休まることのない先生方の健全な心身を守ることが私の務めです。

2024年4月から医師の働き方改革が導入されます。院内各部署が医師のタスクシフトを計画的に進めています。クレハグループという強みを活かしグループ各社と連携・協力し、医師ひとりひとりのQOLを高めること、地域全体で医師をサポートすることで地域医療を守る体制の構築を目指しています。



事務局 管理部総務課 主任
齋藤 央格

物品の安定供給（資材担当部門）

昨今の世界各地でのパンデミック、インフレ、戦争の世界情勢による影響で原油・原材料等の高騰が製造コストの上昇を招き、医療材料全般における価格が上昇している状況です。特にコロナ禍で使用する医療材料を主として当院でも大きな影響を受けており、各メーカーでも納期遅延、出荷調整が発生しており、医療機関にとっても非常に厳しい状況となっています。

総務課（資材担当部門）では、安定生産と供給正常化を納入業者様にお願いをしているところではありますが、まだまだ先行きが不安定な状況にあります。長引くコロナ禍により医療業界全体が厳しい経営状態に陥っている中、職員が「安心・安全」に働くことができるよう、引き続き価格の交渉と物品の安定供給に努めて参ります。

事務局 管理部紹介②



事務局 管理部 経理課長

榑田 良文

■ 数に表れない背景・実態を大切に

『清く正しく美しく』をモットーに正確で明瞭な会計処理を心掛けております。

数字を扱う部署であり、正確性にはより細心の注意を払って業務にあたっておりますが、一方で、現場の状況をより正確に把握し、数に表れない背景・実態を大切にしています。

間違いの許されない緊張感のある業務ながら、風通しはよい部署であると自負しており、忌憚のない活発な意見の飛び

交う職場です。部員は少人数ながら各々担当部署（強み）を持ち、日々現場の声の拾い上げを実践しております。

そうした声を、会計分析へ活かすとともに、経営幹部への経営情報の発信、中長期計画の立案、予算管理などを実践しております。経理は【経営管理】の略称と言いますが、その名に恥じぬように呉羽会の縁の下を今後も支えていきたいと思ひます。皆さま、今後ともご支援ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。



事務局 管理部 医事課長

山野辺 様子

■ マンパワー不足をスタッフ一丸となり乗り切る!!

医事課は現在総勢 25 名で業務にあたっております。

当院の医事課では、窓口業務や請求業務の他、医師事務作業補助の業務も行ってあります。

医師事務作業補助者は 2015 年導入以降、徐々に増員し現在 9 名で業務を行っております。各科で日常の外来業務として代行入力等に携わるほか、各種文書作成等を行っております。今後もスタッフの増員を目指し、医師の煩雑な事務作業の軽減に貢献できるよう更なるスキルアップを目指しております。

また、この度のコロナ第 7 波の際には当院では発熱外来や PCR 検査を積極

的に行ったこともあり、付随する事務作業等も膨大でマンパワー不足となりましたが、「いまが踏ん張りどころ」とスタッフ一丸となり何とか乗り切ることができました。

患者様によりよい医療提供を行うため、チーム医療の一員として、医師や看護師、多部署との連携を図り、少しでも患者様のご負担や不安が取り除けるようにスタッフ一同努めて参ります。当院の理念である「Your smile reaches all (すべてのひとを、笑顔にするために)」を心掛け、地域の医療を支える呉羽会の職員として今後も日々精進して参ります。



事務局管理部医事課・情報システム管理課の集合写真

事務局 管理部紹介③



事務局 管理部
情報システム管理課長
千田 浩明

セキュリティの向上と利便性の高いシステムの提供

情報システム管理課は、電子カルテ等の統合情報システムの管理・運用、セキュリティ対策等を目的とした課として2020年10月に設置されました。

近年、サイバー攻撃が増加傾向にあり病院がその標的となってしまうことも少なくありません。被害を受けてしまった場合、病院利用者への影響は勿論のこと職員の作業効率の低下、ひいては病院の経営にも影響が出てまいります。

2022年医療改定では、診療録管理体制加算1に“400床以上の保険医療機関について専任の医療情報システム安全管理責任者を配置すること”が追加され

ており、中医協でもシステムセキュリティを重要視し始めたことがうかがえます。当院は200床未満のため現在上記には該当しませんが、セキュリティに関する職員教育を開始いたしました。

ランサムウェアの感染等ではシステム的なセキュリティは当然必須ですが、職員自身のセキュリティ知識も重要と考え、リスクの高い行為（メールのリンク・添付を安易に開かない等）を認識するよう教育・不定期訓練をしております。

今後もセキュリティの向上と利便性の高いシステムの提供に努めて参ります。

オンライン資格確認システムについて

当院では令和3年10月よりオンライン資格確認システムを導入いたしました。

オンライン資格確認システムでは、保険証と紐づけされたマイナンバーカードを利用し、オンラインで患者さまの被保険者資格が確認できます。

マイナンバーカードを保険証と紐づけすることで、「マイナポータル」で自分の薬剤情報や特定健診情報等の閲覧が可能となり、自身の健康管理に役立てることができ、災害時には、定められた範囲で、情報が閲覧可能

になる特別措置が実施されます。災害によって薬が手元になかったりお薬手帳を紛失したりと、服用中の薬の情報共有が困難になった場合にも患者さまに必要な薬を届けることが可能となります。

オンライン資格確認システムはマイナンバーカードがなくても限度額の情報が取得できます。従来のような手続きが不要であるため、急な入院等でもすぐに対応できます。

新任医師紹介



外科部長
東 和明

新潟県で育ち、地元の大学を卒業後は主に関東地方や福島県内で救急や外科の修練を積んできました。直近10年ほどは水戸市の総合病院で外科としても働いていました。

このたび前施設のスタッフが増員となったこともあって、呉羽病院で勤務させていただくことが可能となりました。以前、このいわき市で大変お世話になったこともあり、微力ではございますが、その時のご恩を地域住民の皆様方に少しでも還元できるよう努めて行きたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。



地域連携支援室

- TEL. 0246 - 63 - 2181 【代表】内線 2161
- TEL. 0246 - 62 - 3178 【直通】
- FAX. 0246 - 62 - 2035
- E-mail renkei@kureha-hosp.com
- <https://www.kureha-hosp.jp/>

■発行 社団医療法人呉羽会 呉羽総合病院
〒974-8232 いわき市錦町落合1-1
TEL. 0246-63-2181
FAX. 0246-63-0552
URL <https://www.kureha-hosp.jp/>
発行人 田中 稔
編集 地域連携支援室